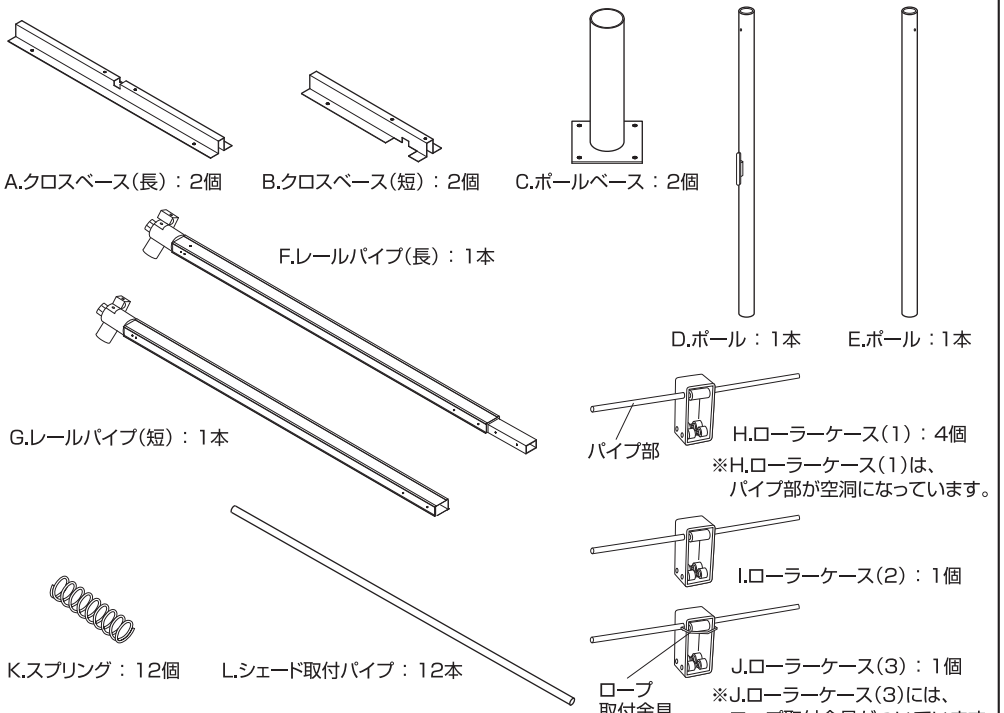
GSTY-A04BE　シェードスライドルーフ　ベージュ
GSTY-A04M　シェードスライドルーフ　モカ

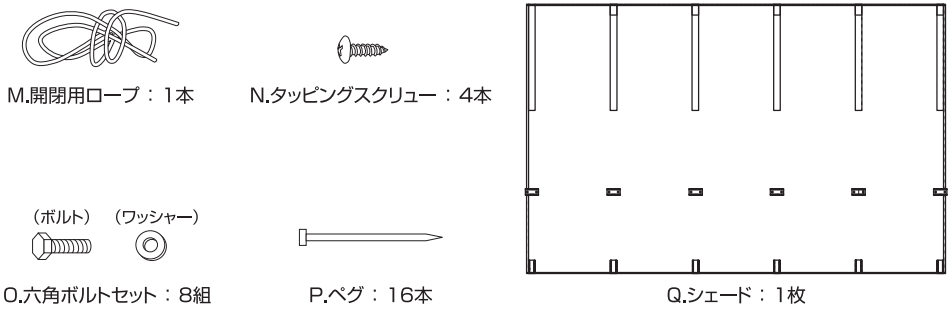
取扱説明書（お客様保管用）

この度は、当社の商品をご購入いただき、誠にありがとうございます。本商品のご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。

部品の確認

部品の種類と数をお確かめください。





※F.レールパイプ（長）、G.レールパイプ（短）、J.ローラーケース（3）は、M.開閉用ロープによってつながっています。

⚠ 使用上のご注意

ここに書かれた内容は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐための重要な内容です。安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ●商品の組み立て、施工、設置等については必ず本取扱説明書に従って行ってください。
- ●危険な場所や通行の邪魔になると思われる場所への設置はおやめください。
- ●運動具やお子様の遊具等、目的以外の使用や改造はしないでください。破損や事故の原因になります。
- ●すき間に手や指を入れないでください。
- ●床に小石や砂利の多い場所や、傾斜や段差のある不安定な場所では使用しないでください。
- ●風の強い場所、高い所に設置しないでください。強風時に倒れたり、落下すると危険です。
- ●火気の近くや高温になる場所では使用しないでください。熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。
- ●強い振動、衝撃のある所で使用しないでください。
- ●床にキズがつく場合がありますので、移動の際は引きずらないようにしてください。
- ●組立手順に従い、すべてのボルトを確実に締めてください。ボルトがゆるんだままで使用すると危険です。
  （定期的にゆるみがないか点検してください）
- ●施工完了後にボルトのゆるみがないか再点検し、施工の汚れを取り除いてください。
- ●組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- ●ボルト取付時、必要以上に締めないでください。
- ●組み立て後、2～3カ月ごとにボルトがゆるんでいないか確かめてください。
- ●安全のため組み立ては2人以上で行ってください。　●組み立て、施工は平地で行ってください。
- ●気象状況により、予期しない突風の発生が考えられます。使用中は現場を離れず、万一、危険を感じた場合はすみやかにシェードを閉じて端に束ねてください。
- ●商品本体から離れる時はシェードを閉じてください。　●ベランダなどの風の影響を受けやすい場所では使用しないでください。
- ●シェードに防水性はありません。雨天時には使用しないでください。
- ●シェードが雨などで濡れた場合、カビなどの発生を抑えるため、晴天時に屋外でしっかりと乾かせてください。
- ●転倒すると危険ですので、周りに壊れやすいものなどを置いている場所では使用しないでください。
- ●ぶらさがったり、よりかかったり、のぼったりしないでください。特にお子様が遊ばないように注意してください。
- ●サビが衣類等に付かないようご注意ください。

品　番	材　質	外形寸法（mm）
GSTY-A04BE	構造部材：金属（鋼）（表面処理 / 粉体塗装） ：金属（アルミニウム） 布　：ポリエチレン	幅4100×奥行き2030×高さ2230 （地面とシェードが水平の状態）
GSTY-A04M		

◆部品の形状、仕様等が、出荷時期によって、予告なく若干変更される場合があります。ご了承ください。
◆ご不要になった商品は、地域の条例等に従って正しく処分してください。

MADE IN CHINA

株式会社タカショー
本社 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1
TEL. 073-482-4128（代）　FAX. 073-486-2560（代）

お客様サービスセンター
通話料無料　0120-51-4128（こいよいにわ）
受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00（祝日は除く）

ご理解ください

●この商品は一般家庭での使用を目的としたものです。公共の場での使用はご遠慮ください。
●素材の性質上、サビや劣化、退色は避けられません。
●紫外線の影響により、使用中に塗装が変色する場合があります。
●屋外で使用される際、紫外線などにより劣化が進みますので、定期的にメンテナンスすることをおすすめします。
また破損、割れが確認された場合、事故防止のため、処分してください。(地域の条例等に従って正しく処分してください)
●表面のザラザラ感はデザインの一部です。
●ハンドメード商品のため、色および形状等がバラつく場合があります。
●本商品は塗装をしておりますが、設置場所の環境(塩害を受けやすい沿岸部付近、車の排気ガスを受けやすい場所)により、変色や腐食の進行を早めることがあります。また、接合部や小さなキズから錆びることがあります。

定期点検・お手入れ時のご注意

汚れを落とすとき

●日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でからぶきしてください。
●著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用してください。

メンテナンスについて

●安全のため、定期的にガタツキやボルト、ネジにゆるみがないか確認してご使用ください。
●サビを防ぐため粉体塗装をしていますが、小さいキズなどを発見した場合は、市販の塗料で補修することをおすすめします。
●塗装される場合は、その塗料の使用説明に従って、風通しの良い場所(屋外など)で換気に注意して作業を行ってください。
●塗装をする際は、ゴミ、汚れなどを落としてください。
●長くお使いいただくためには、定期的なメンテナンスをおすすめします。

組立方法

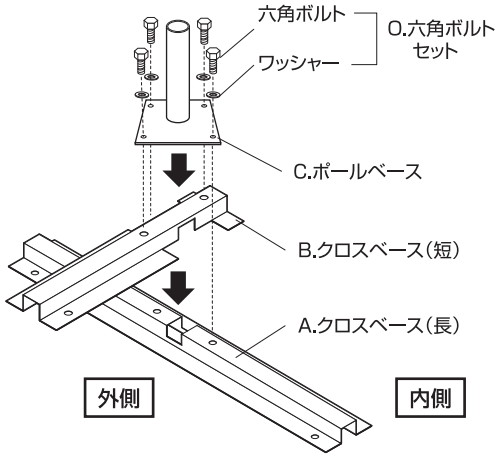
※必要工具:手締め用のスパナとドライバー、脚立をご用意ください。
※平坦な場所で、空き箱を下に敷いてから組み立てるとキズがつきません。

1 ベースを組み立てます

①A.クロスベース(長)とB.クロスベース(短)をクロスに組みます。

②C.ポールベースをO.六角ボルトセットで固定します。

③同様にもう1組、組み立てます。



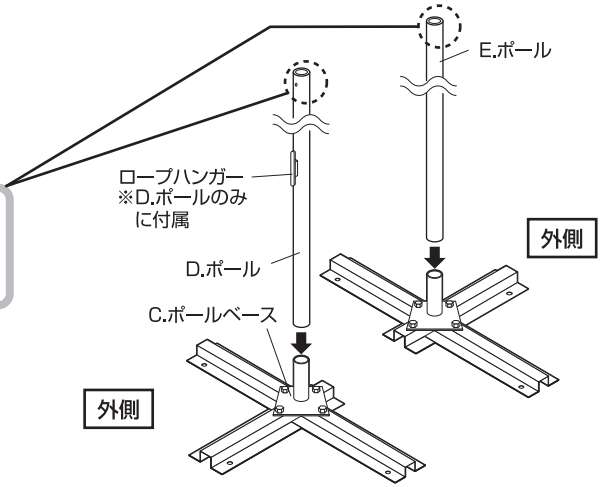
組立方法

2 ポールを取り付けます

D.ポールとE.ポールをそれぞれC.ポールベースのポール部に差し込みます。

⚠ ご注意

D.ポール、E.ポールは穴がある側を**上**及び**外側**にしてください。

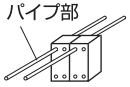


3 シェードの骨組みを組み立てます

①G.レールパイプ(短)にJ.ローラーケース(3)を通した後、H.ローラーケース(1)を4個通し、最後にI.ローラーケース(2)を通します。

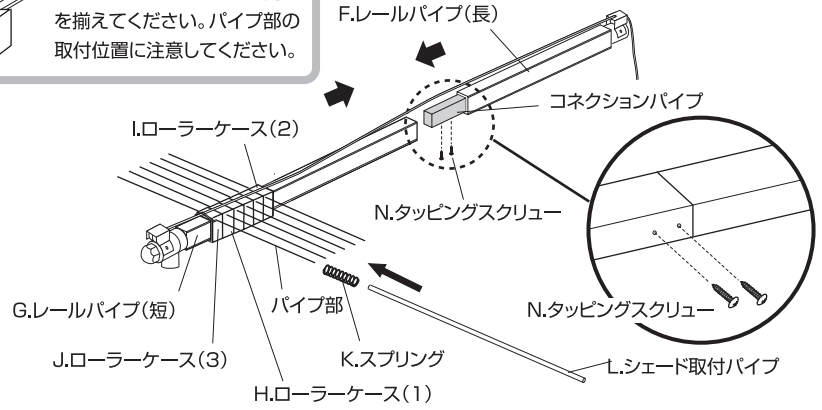
②G.レールパイプ(短)にF.レールパイプ(長)のコネクションパイプ部を差し込みます。
下面側からN.タッピングスクリューで固定します。(計2カ所)

③H.ローラーケース(1)、I.ローラーケース(2)、J.ローラーケース(3)の左右のパイプ部にK.スプリング、L.シェード取付パイプの順に取り付けます。



⚠ ご注意

ローラーケースはすべて向きを揃えてください。パイプ部の取付位置に注意してください。

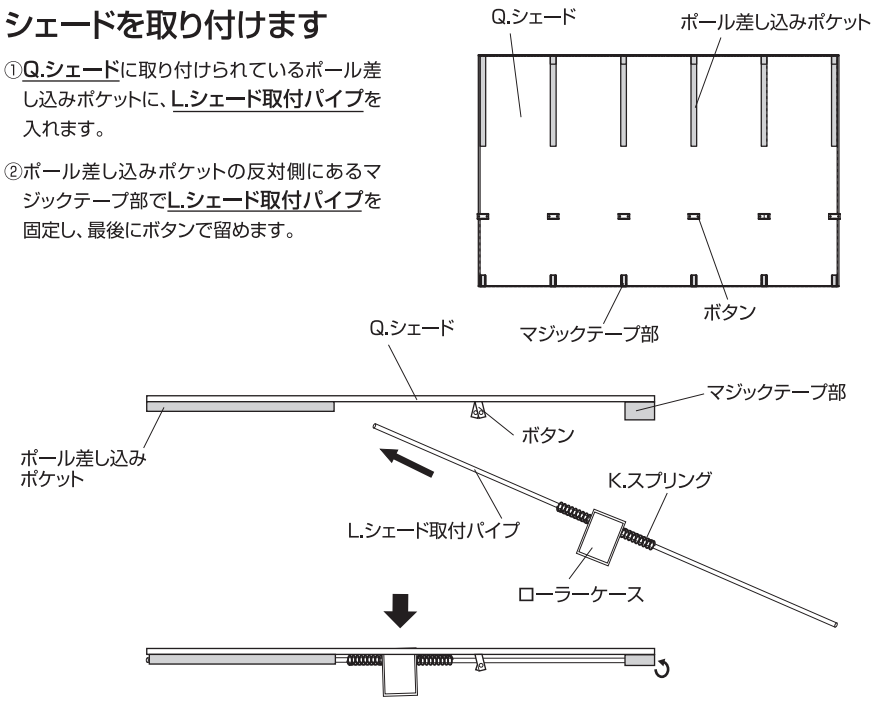


組立方法

4 シェードを取り付けます

①Q.シェードに取り付けられているポール差し込みポケットに、L.シェード取付パイプを入れます。

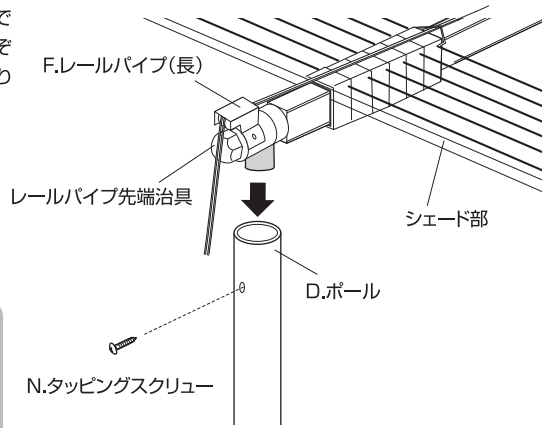
②ポール差し込みポケットの反対側にあるマジックテープ部でL.シェード取付パイプを固定し、最後にボタンで留めます。



5 ポール(脚部)とレールパイプを取り付けます

①❹で組み立てたシェード部の両端を2人で持ち上げ、レールパイプ先端治具を、それぞれD.ポール、E.ポールのポール部へ取り付けます。

②N.タッピングスクリューで固定します。
(計2カ所)



⚠ ご注意

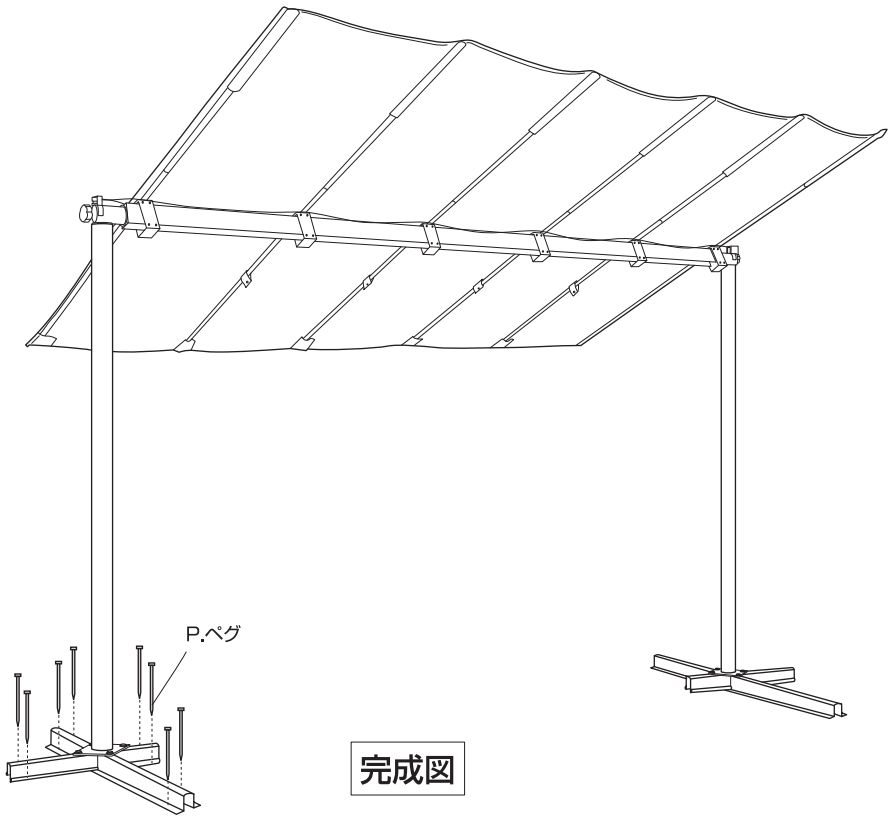
D.ポール側にF.レールパイプ(長)を、E.ポール側にG.レールパイプ(短)を、取付方向に注意して取り付けてください。

組立方法

6 ペグで固定します

①ベースをP.ペグでしっかり固定します。
(計16カ所)

②ガタツキがないか確認します。

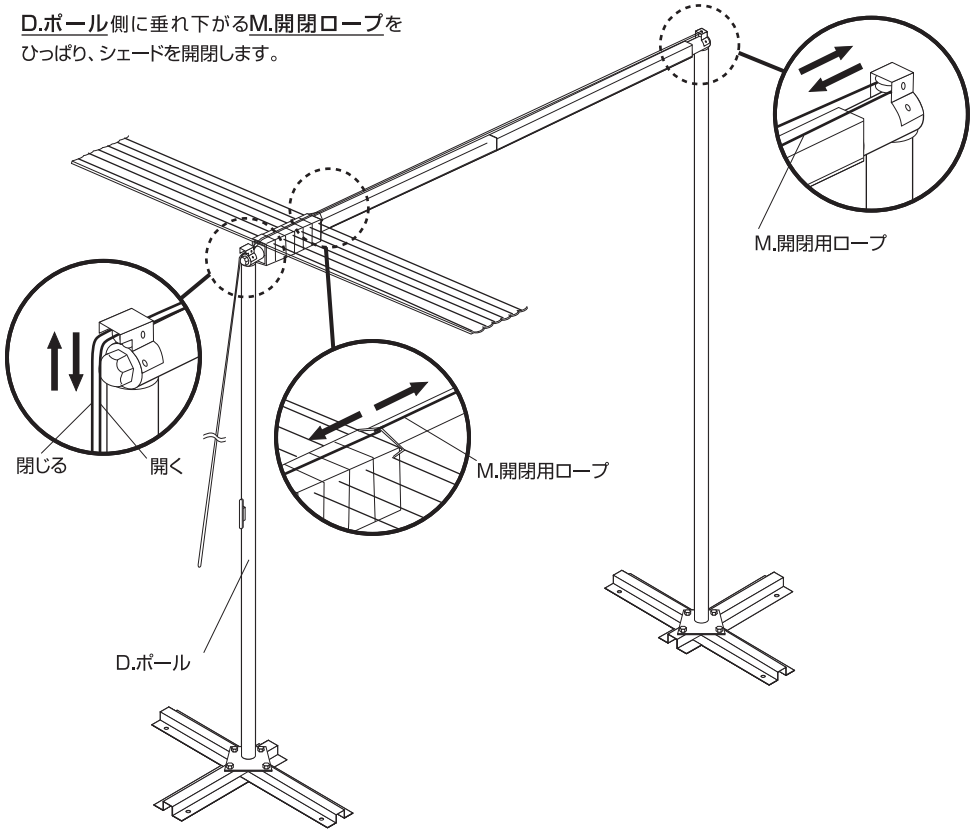


完成図

使用方法

① シェードの開閉

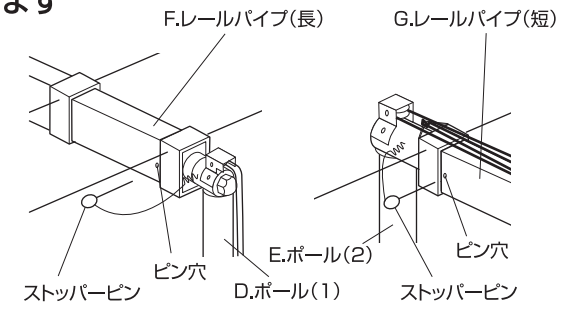
D.ポール側に垂れ下がるM.開閉ロープをひっぱり、シェードを開閉します。



② ストッパーピンを差し込みます

F.レールパイプ(長)に取り付けられたストッパーピンをF.レールパイプ(長)の側面にあるピン穴に差し込み、固定します。

※シェードを最大に広げたときには、G.レールパイプ(短)に取り付けられたストッパーピンをG.レールパイプ(短)の側面にあるピン穴に差し込み、固定します。(風などでシェードが閉まるのを防止します)

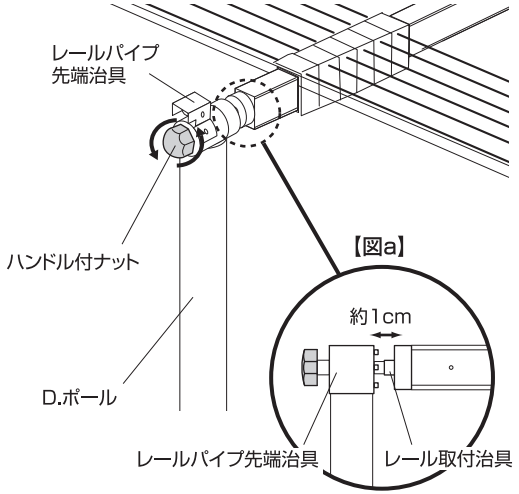


使用方法

③ シェードを傾斜(チルト)させる場合

①F.レールパイプ(長)とG.レールパイプ(短)の先端部のハンドル付ナットをゆるめてレールパイプ先端治具とレール取付治具を1cm程度離します。【図a参照】

②レールパイプ先端治具の凸部とレール取付治具の凹部を組み合わせ位置を変えることで、シェードを前後どちらの方向へも傾斜させることができます。

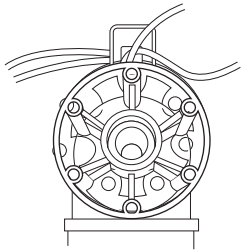


⚠ ご注意

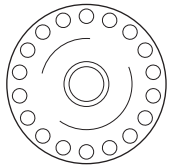
※傾斜の調整が完了したらハンドル付ナットを締めてください。

※D.ポール側とE.ポール側は同じ傾斜角度になるように注意してください。

※シェードを傾斜させると風の抵抗を受けやすくなるので、十分に注意してください。



レールパイプ先端治具 凸部



レール取付治具 凹部